富士宮高校会議所×富士宮第二中2年生

活動取り組み発表や商品開発へのアドバイス

富士宮第二中学校は6日、富士山学習講演会を開催し、富士宮高校会議所（中村真緒会頭）が活動内容や商品開発などについてのアドバイスを行なった。

この取り組みは、同校2年生が富士山学習の一環で商品開発についての質問をあげたことから始まったもの。同校2年生107人は現在、街づくり、歴史、環境防災、国際、文化芸術の5つのカテゴリーに分れて調査研究活動を実施。今回、外国人対応や観光客対応にちなんで国際チームが中心となって商品開発に挑戦することとなり、いち早く商品開発や地域活性に取り組む同会議所にアドバイスを依頼し、今回の講演会が実現することとなった。

同日、同校を訪れた中村真緒会頭はじめ4人のメンバーは会議所活動の内容を説明し、地元を盛り上げるために企業や商店街、地域の人たちと連携協力して会議を開きながらイベント開催や商品開発など様々な活動を展開してきたと発表した。

続いて隠れ地元名物「のしこみ」や、地元食材や特産を活かした「4酒蔵まんじゅう」などの商品をイベントで販売するなどのノウハウを伝え、自らが生産製造しなくとも、地域企業や店などと連携してアイデアを形にできることを、同校生徒たちに伝えていた。

同校生徒らは12班に分れ、地元の北川製餡所のあんこを活用した菓子開発をテーマに、商品案と出来上がり予想図や、良い点悪い点などを話し合い、グループごとに発表を行なった。商品案ではあんこロネやシュークリーム、パフェやケーキ、かき氷など様々なアイデアを発表し、「インパクトがある」「食べやすい」「保存できる」「土産にくい」「好き嫌いがある」などの意見を述べていた。

高校生がアドバイス

中村会頭が説明

中村会頭は「中学生のとてもよいアイデアを聞き、負けていられないと感じました」と感想を述べていた。

同校2年生は、今後も高校会議所へのアドバイスを聞きながらプロジェクトを進め、来年1月の富士山学習発表会では成果を発表したいとしている。

『分水嶺に立つ』――「憲法の今」10――

『分水嶺に立つ』、わたしたちの風景、政治状況、身近な行政、暮らしの中から問いかけています。第1章『憲法の今「憲法ナウ」の第10回は、2年前の戦争法（安保保障法制）の強行成立に続き、異例の採決で成立した共謀罪の趣旨を盛り込んだ改正組織犯罪処罰法の成立後の動きから考えています。（主筆）

『世論と逆行の暴挙』

富士宮合唱連盟が1日に催した合唱祭では、フィナーレの全員合唱で参加各女声コーラスの団員が与謝野晶子の「君死に給うことなかれ」を合唱して、女性活動の先駆的歌人が詩を歌曲にした歌に声合わせ、平和の祈りを広げました。

日露戦争の旅順口攻撃の戦場にあった弟を嘆いて詠んだ「君死に給うことなかれ」は、戦争下にあった時代に、戦争礼賛者らの批判の標的にされ、大町桂月らに「義勇公に奉ずべしとのたまへる教育勅語、さては宣戦詔勅を非議す、大胆なるわざ也」と痛烈に非難されました。これに対して与謝野晶子は、明治37年11月号の「明星」に「みだれ髪」の署名で「ひらきぶみ」を綴り、「あれは歌にて候。この国に生れ候私は、私等は、この国を愛で候こと誰にか劣り候べき」と書き、「歌は歌に候。歌よみならぬ候からには、私どうぞ後の人に笑はれぬ、まことの心を歌ひおきたく候。まことの心をうたはぬ歌に、何のねうちか候べき」と綴り、歌よみはいつの世にあってもまことの心をうたうべきで、まことの心をうたわぬ歌は、文学者はかくあるべきと意思の強さを示したものでした。

明治の時代に女性でありながら、堂々とした主張で平和の願いを語った与謝野晶子が現代にあれば、どうでしょう。

共謀罪の異例な手続きでの成立強行など平和憲法の旗艦である9条を変えて「戦争できる国」へ国の在り方を変える憲法改正を加速させる自公連立の安倍政権に、「憲法前文と第九条の尊き精神を守るために勇気をもって平和を守る運動」を提唱した文学者や有識者が進める「憲法九条をまもる会」運動は、全国に大きなひろがりとなっていますが、富士宮市でも多くの団体や有識者が九条をまもる会に名を連ねて、様々に活動を続けてきました。「九条を守る平和都市宣言」を行なっている富士宮としては、市民の意志に反する議会の「不採択」は、「核廃絶平和都市宣言が泣いている」と言ったことになります。

共謀罪の趣旨を盛り込んだ改正組織犯罪処罰法は、自民公明連立与党が安倍政権の異例の「中間報告」採決によって成立したが、異例の成立に自公与党安倍政権が踏み切ったことに全国紙の世論調査では「よかったとは思わない」が65％を越えているなど「世論と逆行の暴挙」は、安倍政権・自公与党が目指している平和憲法を変える「憲法改正」を加速させるものになってもいるのです。

富士宮市議会は5日の6月定例会最終本会議で、市民（田口弥一さん）から提出されていた共謀罪を含む組織犯罪処罰法改正の危険性を指摘し反対の意見書採択を求める請願を反対多数で不採択にし、同様に渡辺佳正議員と若林志津子議員が紹介議員となって「反核富士宮市民の会」が提出していた「日本政府に核兵器禁止条約交渉会議に参加し、条約実現に努力するよう求める意見書」の採択を賛成10（日本共産党議員団・政正会・維新会・蒼天）、反対11で「負採択」としました。「核兵器廃絶平和都市宣言」都市宣言」を富士宮で考えてもいいのではないでしょうか。世界文化遺産の富士山からの『平和の願い』発信です。

九条を守る会の提唱者で、「あてになる国のつくり方」の著書もある故・井上やすし氏は戦争反対の一文にマーチン・ルーサー・キング・ジュニアの言葉から「もっとも悲劇的であるのは、悪人たちの辛辣な言葉や暴力ではなく、善人たちの恐ろしいまでの沈黙と無関心である」と綴っていますが、現代は「恐ろしいまでの沈黙と無関心」が「自由を危うくする危機的状況」を生み出しているのです。

『自由が危ない』

核廃絶平和都市宣言が泣いている
共謀罪成立反対意見書も市議会は不採択

7月10日(月)　富士山お山開き　世界遺産のまち

★開山祭（富士山本宮浅間大社）午前9時～　★入山式（村山浅間神社）午前11時10分頃～　★富士開山奉納手筒花火（富士山本宮浅間大社）午後8時～

◎問い合わせ：富士山お山開き実行委員会 ☎0544-27-5240

今年こそ
登ろう
心のふるさと
富士の山

富士山表富士宮口登山組合
富士山の美しい自然を大切に…

菓子工房 長崎屋洋菓子店　万野原新田3324-10　TEL 0544-27-4832

商標登録
清酒
富士
牧野酒造合資会社
九代目蔵元　牧野利一
富士宮市下条一〇三七
電話〇五四四-五八-一一八八